

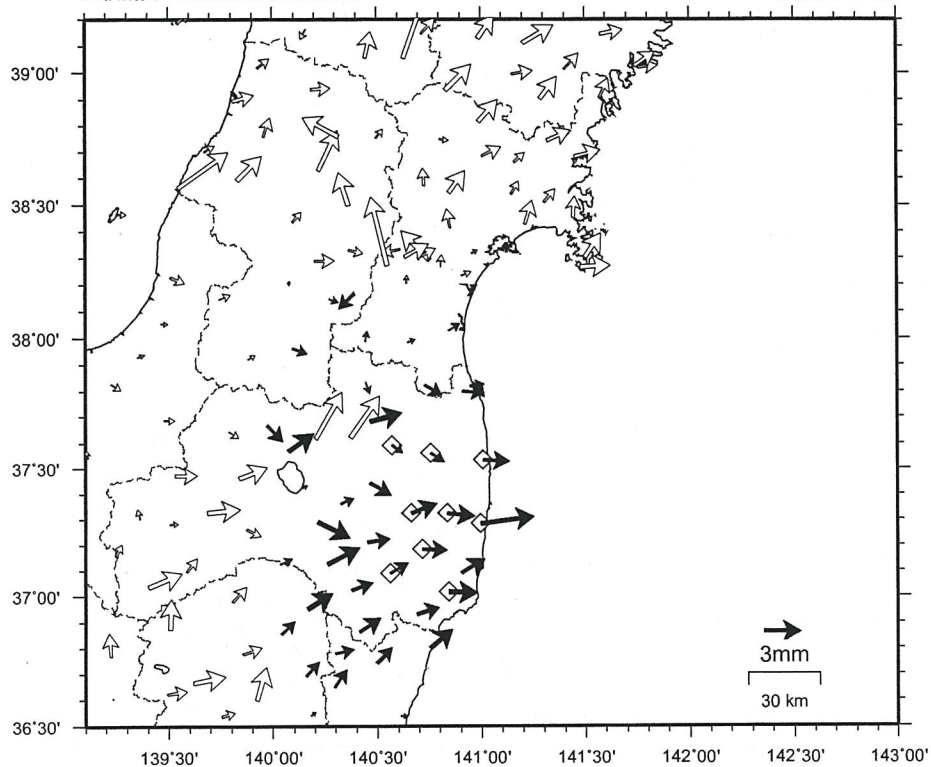
福島県沖の地震（2008年7月19日）発生前の地殻変動について（2）

2007年11月26日の地震と2008年7月19日の地震の震源の領域で
Mw6.4に相当するプレート間すべりが発生していたと考えられる。

3. 非定常地殻変動ベクトル

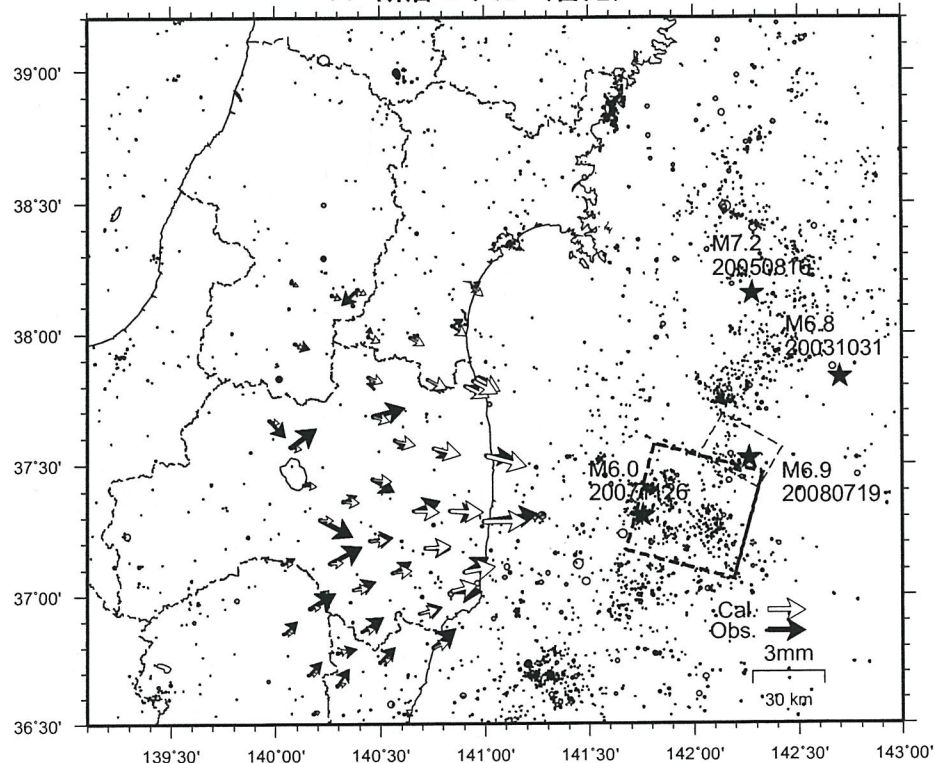
基準期間：20071222-20080101
比較期間：20080421-20080501

固定局：大湊



- ・黒矢印は、断層モデル推定（下図）に使用した観測点。
- ・◇は前ページに時系列を示した観測点。

4. 断層モデル（暫定）



Lat= 37.47, Lon= 142.33, D= 27.5km, L= 46.5km, W= 49.1km, Strike= 195.2, Dip= 15.0, Rake= 99.0, Slip= 0.07 m, Mw=6.4
Lower Depth= 40.2km, Strike Component= 0.01 m, Dip Component= 0.07 m, Rigidity=30GPa

- ・○は気象庁一元化震源による震央分布（20071201-20080430）。
- ・細破線で示す矩形領域は、2008年7月19日福島県沖の地震の地震時の断層面。